

ふくい生活協同組合

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2016年3月11日 No. **110**

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

福井県生協連 創立40周年記念 冬季役職員学習会を開催しました



- 日時** 2015年 11月25日(水) 15:00~16:30
- 場所** 福井県教育センター4F 大ホール
- 講演テーマ** 『日本の生協運動の到達点と未来への展望
～地域活動の実践から、課題と役割を探る～』
- 講師** 浅田 克己 氏 (日本生活協同組合連合会 代表理事会長)
- 参加者** 会員生協役職員 56名



浅田会長は、全国生協の社会的取り組みと2015年度重点課題についてパワーポイントを使ってお話されたあと、①全国生協と福井県生協連の活動実践から原点を学ぶ ②賀川豊彦が生協に託したこと ③震災支援活動で発揮された「助け合い」の理念 ④生協が21世紀の社会で果たす役割 ⑤2020年ビジョン第2期中期方針の枠組み について様々なエピソードを交えながらお話いただきました。



福井県生協連 創立40周年記念事業

福井大学生協主催の 健康祭2015にて 食育ブース出展



12月4日(金) 12:30~15:30、福井大学生協食堂 文京キャンパスで開催された「福大健康祭2015」で、食育に関するブースを出展しました。



大学生を対象とした消費者教育に関する企画として、「シュガーテスト～清涼飲料水を調べよう～」を行いました(協力: (公社)ふくい・くらしの研究所)。毎日たくさんの清涼飲料水を飲んでいる学生さんがテストに参加し、一日にものすごい量の糖分を摂っていることに愕然としていました。

一人暮らしをしている学生の皆さんにとっては、健康についてより考えを深めるいい機会になったのではないのでしょうか。福井大学生協の組合員の皆様、たくさんのご参加ありがとうございました。

『生協ボランティア月間』は 終了しました。

(2015年11月15日～2016年2月15日)

収集物は、福井県ボランティアセンターを通じて、収集ボランティア団体からコレクターに売られて換金され、福祉活動に活用されます。
ご協力ありがとうございました。



生協ボランティア月間報告

収 集 物	15年度の量
使用済み切手	3,713g
ベルマーク	2,585枚
書き損じ葉書	89枚
外国コイン	国:9ヶ国 コイン枚数:36枚

会員生協のボランティア活動紹介

福井県生協連合会では、会員生協（組織または役職員・組合員）が行っているボランティア活動に対して助成金をお渡しし、活動を応援しています。

福井県学校生協

池が原湿原(勝山市平泉寺)の保全活動 — 勝山・平泉寺小学校 —

平成23年度から継続している地元の湿原の保全のために、5月に全校児童24名で探索にでかけました。希少植物(トキソウ、ミズドリ、メタカラコウなど)の草花の生育を妨げるヨシやハンノキの繁茂状態を調査しました。



6年生4名は、総合的な学習の時間の一環として10月までに3回の実地調査を行い、県自然保護センターの職員の支援を受けて、植物だけでなく希少昆虫(モリアオガエル、ハッチョウトンボ、ゲンゴロウなど)の生態調査を行いました。



11月にPTAや地域ボランティアの協力を得て全校児童で湿原の「ヨシ刈り」活動を行いました。刈り取ったヨシは越前和紙と配合し、今年度用の卒業証書として活用しました。また、学芸的行事である「杉の子わくわく発表会」で保護者や地域住民、保育園児などに対して1年間のまとめの発表を行いました。

美山地区の清掃活動と花壇の整備 — 美山中学校 —

校区の幼・小学校と協力し、地区の清掃活動を行いました。神社や寺、公園の掃除、道路のゴミ拾いなど、自分たちのできることを考えながら実施しました。地域の方々が見守りがてら協力して下さり、地域との交流にもなりました。

また、地域の方で構成する「美山を美しくする会」の活動にPTAとして参加しました。生徒の参加も募り、道路沿いの花壇の整備と苗植えを行い、保護者・生徒延べ76名の参加がありました。



▲奉仕作業の様子



▲フラワーロード作業の様子

菅浜生協

炭焼き体験開催

— 美浜東小4年生 —

9月12日(土)8時30分～11時に美浜東小学校4年生25人による、炭焼き体験が行われました。



最初に浜野監事より森の大切さ、炭焼きの歴史、炭ができるまでの過程について説明があり、その後のこぎりによる木の切断、炭材の窯入れ、出来た炭の箱入れを順番に体験しました。体験後は炭をおこし、イノシシの肉を食べてもらいました。



— 美浜東小3年生 —

11月14日(土)8時30分～11時に美浜東小学校3年生による、炭焼き体験が行われました。体験後は猪鍋で体がポカポカになりました。



福井県民生協

仮設住宅の方々と の再会・交流

シルバーウィークを利用し宮城県へ行ってきました。まず、おみやげ用にと組合員さんたちと作った手芸品(ねこちゃん、腕カバ、ポーチ)を東松島市の鷹の森仮設住宅の方々へみやぎ生協の職員の方を通して渡していただきました。そして、陸前小野仮設住宅の皆さんには「おのくん」作りの材料となるくつ下綿を届け、交流してきました。

名取市箱塚桜団地仮設住宅集会所でのお茶会サロンでは、脳トレゲームや踊りをして楽しく交流しました。都道府県ビンゴの景品は、手作りのネコちゃんやポーチ、お買い物袋などを準備し、喜んでいただけました。名取市の海岸線にある閑上小学校・日和山などを見学し、改めて震災のひどさ、つらさ、やるせなさをもっと感じ、言葉になりませんでした。

福井のまわりの人に被災地の現状など伝え、風化させることなく寄り添っていきたいと思います。



▲名取市箱塚桜団地仮設住宅の皆さんと脳トレゲームや歌、踊りで交流しました。



平成27年度「地方消費者グループ・フォーラムin北陸」報告



- テーマ 『みんなの力で安心な地域づくりを!』
- 日時 11月16日(月)
- 会場 福井市 AOSSA8階 県民ホール
- 主催 「北陸ブロック地方消費者グループ・フォーラム」実行委員会・消費者庁
- 参加者 38機関・170名

地方消費者グループ・フォーラムは、地域において消費者問題に取り組む様々な人々が情報や意見の交換を行う「交流の場」として平成22年から全国8ブロックで開催されています。

今回の北陸ブロックでのフォーラムは福井県開催で、福井県生協連が実行委員会事務局を担い、北陸3県の消費者団体や行政と協力して、準備・運営を行いました。まず、地域包括ケア推進課副主幹 岡田早苗氏による「地域で“あんしん”見守り活動ネットワークの取り組み」のご報告をいただきました。

地域での活動報告では、①富山県消費者団体連絡会より「消費者被害から高齢者を守る!朝日町実行委員会の取り組み」②石川県生活学校連絡会より「体験を通じ、食への興味関心を育てる」③大野市消費者グループ連絡協議会より「循環型社会を目指して、生ごみ減らし隊の活動」をいただきました。

分散会では、安心な地域づくりとして「見守り」「消費者教育の啓発・促進」など私たちができることを内容とした活発な意見交流がなされ、最後に板東消費者庁長官より講評いただきました。



3.11 を忘れない

～地域再生に向けて～

コミュニティ、今とこれから

みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします

「戸建住宅は庭に出れば隣人の顔が見える。会話が生まれ自然と交流に発展する。ところが集合住宅ではその機会が無く、ストレスを抱えているひとが多い」。そう話すのは名取市美田園北(みたぞのきた)自治会会長の高橋学さんです。



▲美田園北自治会会長の高橋学さん

防災集団移転と災害公営住宅の入居が進む被災地。美田園北もその一つです。被災した下増田や閑上の住民162世帯が移転し、昨年秋に「まちびらき」を行ないました。

高橋さんは「これまで何度もコミュニティが壊れてきた。被災したとき、避難所から仮設に移ったとき、仮設からいまの住まいに移ったとき。ここで、また一からコミュニティを築いていかなければならない」と話します。しかし美田園北地区の集会所ができるのは今年の夏ごろの予定。「それまで手をこまねいているわけにはいかない」と集合住宅のエントランスホールで小規模の集いを開きました。「普段部屋に閉じこもっている人たちも集まっている悩みを話してくれた。気持ちを吐き出すことで少しはラクにな

る。その手伝いができればいい」。

名取交流センターは、地域の共助として震災直後の5日後から被災者支援に取り組み始め、下増田・閑上地区で被災した人たちが美田園北に移転後も、毎週交流お茶会「いぐすべ」を継続開催し、コミュニティづくりを支えています。

しかし震災からもうじき5年、コミュニティ構築のために集会所を自治会でどう活用していくか、考えていかなければならない(高橋さん)と、次のステップに目を向けています。

コミュニティ再構築は被災地に共通する課題です。みやぎ生協でも震災後「ふれあい喫茶」などのサロン活動を各地で継続してきましたが、新たな住まいの場でのコミュニティ構築への支援のありかたを模索しています。自治会、行政、伴走するボランティア、そして生協などが連携しあい、あらたな住民にとって良い方法を見出していくことが求められています。



▲交流お茶会「いぐすべ」。現在は隣接する本村下地区の集会所を借りて開催。

会員生協の活動報告 & 予定案内

福井県 学校生協

ご来場ありがとうございました！ 秋の生協まつり2015

2015年11月7日(土)～8日(日)の2日間に渡り、(一財)福井県教育センター全館にて、「秋の生協祭り2015」を開催いたしましたところ、両日で約350人の組合員さん及びご家族の方にご来場していただきまして、誠にありがとうございました。さて、日頃のご協力、ご支援に感謝をして、350円でおろし蕎麦(県内丸岡産蕎麦粉100%使用)を食べら



れる「手打ち蕎麦コーナー」のブースには、「挽きたて・打ちたて・茹でたて」三拍子揃った蕎麦の風味を味わう組合員さんの姿で列ができ、舌鼓を打っておられました。



また、「新鮮野菜・果物」のブースでは、200円でじゃがいも・玉ねぎ・みかんの詰め放題等を開催し、秋の生協祭りは盛況のうちに終了いたしました。

福井 県民生協

「ふくい地産地消を すすめる協定」を締結



1月25日(月)、県民生協ではJA福井県経済連と「ふくい地産地消をすすめる協定」を締結しました。

今回の協定は、県内農業の活性化ならびに県内農産物の消費拡大に向け、「協同組合間協同」の様々な取り組みを通して、生産地の育成と農産物販売を支援していくことを目的としています。

竹生理事長からは、「組合員への安全安心な県内農産物の供給を拡大し、消費者(生協組合員)と生産者(JA組合員)の生活をよりよくしていきたい」とあいさつさせていただきました。今後も、食の安全安心と安定供給、県内食料自給率向上のため、地産地消を推進し、生産者との交流促進に取り組めます。



福井県 医療生協

活動報告



福井県医療生活協同組合では11月から12月に生活習慣の改善に取り組む健康チャレンジを実施しました。項目は「毎日3,000歩歩こう」や「歯磨きを1日1回5分行う」など気軽に取り組むことができる内容で、今回は200名以上が健康チャレンジに挑戦しました。嶺南ブロックと坂井ブロック丸岡支部では健康チャレンジ交流会を開催し、チャレンジに挑戦した方で集まり今回の取り組みの感想や体調の変化、継続できたかなどチャレンジの振り返りと達成者に参加賞が贈られました。参加者からは「朝日新聞の天声人語の音読を取り組み、情勢が分かるようになり、声を出すことで気分も前向き、漢字も調べるようになった。」などの感想がありました。

ボランティア活動報告

あわら市清間地区で高齢者が集う介護予防拠点施設「やすらぎ清間」において、昨年12月10日に恒例の「もちつき交流会」が行なわれました。毎年楽しみに待っている利用者さんなど61名の参加者が集いました。

「やすらぎ清間」の屋外ではテントの中でボランティアさんと園児も杵を持ってもちつきに参加しました。「おろし、きなこ、つぶあん」にまるめられたお餅が参加者に振る舞われました。屋内でも健康体操で身体を動かし、園児による歌の披露と記念の首飾りが参加者に渡され、年の締めくくりに笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。



福井県 労済生協

第2回地区推進委員会の 開催報告

2015年12月7日から17日にかけて、各地区で地区推進委員会が開催され、2015年度の事業推進活動計画の取り組み状況と下半期に強化する活動について確認がされました。

下半期については、住まいの共済の特約付帯推進と、2016年2月に制度改定したマイカー共済の推進を一層強化していくことが確認されました。

【重点推進共済】

- ◎住まいの共済(類焼損害保障特約、個人賠償責任共済、盗難特約)
- ◎マイカー共済



地区名	開催日時	開催場所
福井北	12月11日(金) 18:00～	ユニオンプラザ福井
福井南	12月10日(木) 18:15～	ユニオンプラザ福井
坂井	12月7日(月) 18:00～	ユリウム春江
丹南	12月15日(火) 18:30～	ふれあいみんなの館
奥越	12月15日(火) 18:40～	勝山市労働福祉会館
嶺南	12月17日(木) 18:30～	あいあいプラザ